

 
2024.6.9
NO.118

JR東日本コンサルタンツ株式会社

安全の欠落は親会社だけではない！

～「横浜駅」と「Kアリーナ」をつなぐ歩道橋にて設計ミス～



ここ数日、JR東日本関連のニュースが世間を騒がせている。5月中旬、JR東日本コンサルタンツ株式会社は、請け負っていた工事の中で「横浜駅」と「Kアリーナ」をつなぐ歩行者用通路の台座にひび割れを発見。調査したところ設計ミスにより構造上の不具合、建築物の強度不足が判明し、6月1日開通予定だった歩行者用通路を延期する事態が生じた。今回はたまたまひび割れの調査によって大事には至らなかったが、一歩間違えば大事故にもつながる重大なインシデントである。JR東日本グループはこの1年間、2件の死亡事故を始め、感電、墜落、列車が電化柱衝突、新幹線の架線垂下などあってはならない事故が止まらない。また、埼京線での乗務中のタブレット閲覧、常磐線の乗務員区では不適切な社内報の配信、お客さまの意見を無視したみどりの窓口の閉鎖などお客さまの“信用”と“信頼”を失墜させる事象が相次いで発生している。「想定外を想像する」「失敗を恐れない」という言葉に踊らされるのではなく、本来すべき仕事を各々が見つめ直し、私たちから鉄道会社としてあるべき姿をつくりだしていこう！

JR東日本グループ会社の経営陣は今一度「安全網領」を見返すべし！